

印刷

何処までやるか、出来るか——新政権への期待と不安

—地球環境・資源・エネルギーに本気で取り組みを—

森 一久

地すべり的な国民支持のもと、民主党連立政権は、内政・外交のあらゆる懸案に、果敢に取り組み始めた。

その大部分は、従来の組織・慣習・秩序への根幹的な挑戦無しには実現出来ない政策であり、国民がハラハラとしながらも、「とにかくやらせて見る他無し」と戦後政治の総決算に賭けた以上、これに呼応して、官政界は勿論、社会・産業・労働組合はじめ各セクターもそれぞれに、思い切った「自己変革」に渾身の勇気を持って、取り組まざるを得ないはずである。

さて、ここに論ずる三つの「基本問題」——資源・環境・エネルギー——も、国のあり方や人間の生き方の根本に関わるもの、その上相互に密接不可分かつ相互矛盾に満ちたものである。それ故その打開策は、今日までの経験や手法の延長線上に、つまり今まで通りの暮らし方や趣味、それに商売（産業）の仕方そのままでも乗り切れるはずはない。それなのに、従来の社会経済システムの延長線上に、必ず何らかの道が開けるかのような議論ばかりしか見当たらないのは、誠に心許ないかぎりである。（「百年来の危機」からの脱出についても同じと思う。）

果たして、地球は、世界は、日本は「追い詰められているのだ」という切迫感を持たなくていいのだろうか。

とはいいながらも、世の流れには、微かながら、潮目の変化の兆しが見られなくもない。このシルバー・ウィークの真只中、NHKの9月20日の世論調査の中で、鳩山新政権に望むことの筆頭に「税金の無駄使いの根絶」が、「景気」や「福祉」を抜いて40%以上の高い支持となっており、さらに注目されることに、「高速道路の無料化」への反対が実に70%以上もの高い率を示していた。言うまでも無く、前者は民主党のマニフェストの重点項目への高い支持だから当然だろうが、後者は逆に絶対反対なのだ。

テレビが高速道路の渋滞のニュースを流し続ける中、高速道路は欧米ではみなタダなのだとか説明され、これこそ「景気刺激策なのだ」とか言われてみても、「こんなことでいいのか」と心の隅で思っている国民は少なくないのである。前者（税金）については、筆者も当ブログ5月29日に「消費税率の低い国ほど国家財政への信頼度が低い」と指摘しただけに「わが意を得たり」だが・・・高速道路の無料化は、エネルギーの浪費・地球温暖化にマイナスなのは明らか・・・大衆がクルマで家族団欒を楽しみながらも、この大きな矛盾を感じ取っているとすれば、希望な

きにしもあらずと、筆者は感慨ひとしおであった。

バブル中毒の「勝ち組」はともかく、大衆の相当部分は、経済・環境の事態容易ならざる事を生活の現実からも、本能的にも感じ取っており、それなりの覚悟あるいは心構えができつつあり、なればこそ新政権への雪崩現象も生じたものと思われる。

戦後半世紀余、平和国家を貫き通した日本。そのために取った手段、失ったもの等には多くの問題とそれなりの国民のストレスも鬱積しているけれども、日本が史上最初の特異な文明国になりえた事に、やはり国民は大きな誇りを持つべきである。

今やこの地球が従来の人間文明のために招来した大危機にあたり、日本は国際競争上の不利等といった旧来の「打算」をかなぐり捨てて、再び地球を救う尖兵となる覚悟で臨んでみようではないか。国民の全意識のリセットなど、克服すべき課題は多いが、先ずは日本が「国というものは納めた税金を公明正大に使ってくれる」と信ずることが出来るような国になれるかどうかである。これがひとつの出発点であろう。

【付記】

さて資源・環境・エネルギー問題の「三角形」の真ん中に位置するはずの原子力問題。このところ神棚に祭り上げられたように、地球環境問題からする「必要悪」の評価以上にあまり話題にされなくなったし、関係者もそのような状況に安んじているように見える。

私などは、地球環境問題から、「原子カルネサンス」などと浮かれて、原子力発電の国際的な拡大を単純に喜ぶような風潮を、苦々しく思っている。大事故の防止は勿論、テロ標的からの回避、それにこの雰囲気背後に垣間見られる、核兵器がらみの願望を見抜くシステム（核不拡散体制と国家主権の問題など）の三大条件を保証するという、容易でない実効ある国際体制を真剣に構築することこそ、が先決である。

わが国は半世紀前、被爆体験を乗り越え、全国民・全党派の支持のもと、原子力発電に着手し、有力な原子力発電分野の先進国になった。のみならず「被爆国」というだけの理由で、世界で唯一、核兵器技術に関連の深い核燃料リサイクル技術開発を認められている国である。

それが何故現状のようになったか。いわば「原子力開発の世直し」政策如何。この重大な、大手術も不可避に思える現状についての、新政権への示唆や提案については、次回以降に譲りたい。